

入間川地区中学校統廃合説明会報告

【対象：富士見小学校保護者】

- 1 開催日時
 - 平成 25 年 11 月 9 日（土） 14 時～15 時 ※参加者数 31 人
 - 平成 25 年 11 月 13 日（水） 14 時～15 時 ※参加者数 10 人
- 2 開催場所
富士見小学校 2 階第一図書室
- 3 市職員（計 6 人）
生涯学習部長、次長兼教育総務課長、学校統廃合担当課長、学校統廃合担当主査
学校教育部参事兼教育指導課長、学務課長
- 4 配布資料
 - ◇ 入間川地区中学校統廃合の検討状況について

————— 主な質疑応答及び意見要望 —————

制服等に関すること

Q 同じ制服で卒業したいという気持ちが子ども達にはあると思うが、制服を市から支給することは考えているか。

A 制服を市から支給することは考えていません。

Q 26 年度の新入生は東中の制服を着るということでいいのか。

A 来春の新入生は東中の制服を購入していただき、28 年度の中学 3 年生の時に学校が変わっても、東中の制服をそのまま着用していただくこととなります。

Q ジャージや体育着なども制服と同じ扱いになるのか。

A それらについても、制服と同様、28 年度の中学 3 年生の時に学校が変わっても、東中のものをそのまま使用していただくこととなります。

Q 27 年度の東中の新入生の制服はどうなるのか。

A それは今後の検討課題です。27 年度に統合を予定している入曽地区では、学校に新たに制服検討委員会を組織し、保護者も交えた形で検討を行いました。制服検討委員会では保護者アンケートも実施し、結論としては、26 年度の入間中の新入生は、統合先の山王中または入間野中の制服を一年前倒しで購入することとなりました。

- Q 既存の制服ではなく、新たなデザインの制服を導入する考えは。
- A 26年度以降に予定している制服に関する検討のなかでは、そういったケースも考えられると思います。

学区に関すること

- Q 全国学力テストの結果が学校ごとに公表されることになった場合、特別許可地区に住む生徒にとっては学校選択の判断材料の一つになりうると思うが、その点どう考えているか。
- A 学校ごとの全国学力テストの結果の公表については、現段階では何とも言えません。
- Q 学校を選べる子どもは、最終的にいつまでに決めればいいのか。
- A 平成28年度の統合ですので、平成27年の秋ごろに希望を確認する予定です。
- Q 東中がなくなることを踏まえて、東中と狭山台中を選べる地区に住んでいる子が、全員狭山台中に入学することになってかまわないのか。
- A それは問題ありません。
- Q 狭山中央通りの一部の地域が、中央中への通学も可能な特別許可地区になるとのことだが、マルエツの所の境目は。
- A 中央1丁目と中央2丁目を区切る道路が境目となります。
- Q 上の子が狭山台中で、下の子が中央中ということも可能なのか。
- A それは可能です。
- Q なぜ狭山台中と中央中を選べる特別許可地区は26年度から適用しないのか。
- A あくまでも指定校を狭山台中としたうえで中央中への通学も可能な特別許可地区という考え方ですので、28年度からの適用ということになります。

通学に関すること

- Q 市内では概ね2kmを目安に自転車通学が認められているようだが、今まで10分くらいで通えていたのが30分や40分になれば、通学環境の激変につながるのでは、そういった点も考慮したうえで弾力的に運用してほしい。
- A 自転車通学については27年度以降に検討が進められることになるとは思いますが、自転車通学の許可に関しては学校が決めることとなります。
- Q 学校を選べる子どもにとっては、通学が徒歩になるか自転車になるかは学校選択の

判断材料の一つなので、なるべく早く自転車通学の可否を決めてほしい。

A なるべく早く決まるように、学校側にお願いしたいと思います。

Q 狭山台中から直線距離で2 kmでは、ほとんどの生徒は自転車通学が認められないことになると思うが。

A 実情を踏まえながら、半径もしくは実際の距離のいずれかで検討していくことになると思います。

Q 狭山台中に駐輪場をつくる予定は。

A 自転車通学が認められる場合は、27年度中に必要な規模の駐輪場を整備する予定です。

部活動に関すること

Q 狭山台中と東中では活動している部活の種類が少し異なるが、それらはどうなるのか。

A 東中にある狭山台中にない部活動の設置を最優先に考え、そのうえで新たな部の設置も検討していきたいと考えています。

Q 部活のユニフォーム代を市で補助する考えは。

A 現段階では何とも言えません。部活動の扱いについては中学校体育連盟と現在調整中ですが、統合時に限り、例えば野球部など東中で活動していた部をそのまま生かす形で狭山台中から2チーム参加させるとか、個人戦であれば出場枠を増やすといったことを検討しています。

Q 東中の校庭は広いので、すべての部が同時に活動することが可能だが、狭山台中の広さはどのくらいあるのか。

A 狭山台中の運動場の面積は16,934㎡です。東中の運動場の面積は16,452㎡ですので、広さはそれほど変わりません。

Q 部活動に対する意欲など、教職員の間で温度差がないようにしてほしい。

A 東中と統合先の学校間の温度差がなくなるように、関係する学校間で今後話し合いの場が持たれることとなりますが、教育指導課の立場からも、校長会や教頭会などの機会をとらえて、より良い統合になるよう働きかけていきたいと考えています。

Q 東中の場合、部活は必ずしも全員が入らなければならないというスタンスではないが、狭山台中ではそうではないと聞いている。統合しても狭山台中では全員部活に入

らなければならないのか。

A それに関しては学校が決めることになります。

Q 東中で部活に入っていなかった子が、狭山台中に行ったら部活に入らなければならないというのも酷だと思うので、先生たちだけで決めるのではなく、生徒たちの意見も取り入れる必要があるのではないか。

A 統合時に限り、東中で部活をしていなかった生徒は入らなくてもいいといった弾力的なやり方もあると思いますが、いずれにしろ決め方も含めて学校で判断してもらうことになります。

- ◆ グラウンドは各部が交代で使わざるをえないとか、活動できない日があるなどといったことがないようにしてほしい。
- ◆ 活気のない部活動もあると聞くが、そのような状況があれば、顧問の先生のモチベーションややる気の面も含め、教育委員会の立場からしっかり指導してほしい。

跡地利用に関すること

Q 東中の跡地はどうなるのか。

A 東中の跡地については現在白紙の状態です。検討協議会では、災害時の避難所としての機能を残してほしいといった意見もあり、市としても避難所の確保は重要であると認識しています。跡地の利用方法については、教育委員会だけではなく全庁的に検討していくことになります。

- ◆ 商業施設を建てるなどすれば税収が増えて潤うのかもしれないが、東中の跡地は、最近減ってきている子どもの遊び場として活用してほしいし、子どもの体力向上にもつながると思う。
- ◆ 東中の校庭は広いし水はけも良いので、跡地は子どもの遊び場などとして広く地域住民に開放してほしい。
- ◆ 廃校後手付かずにして荒れてしまうと、犯罪の温床につながる恐れがある。

その他

Q 「東中の廃校」というのはマイナスのイメージがあるし、人数的にも対等統合といえるのだから、狭山台中を新しい学校名に変えてスタートした方が、統廃合を円滑に進められるのではないか。

A 学校名に関しては、次回の入間川地区中学校統廃合検討協議会で議題として取り上げる予定です。

Q 送り手である富士見小、東中と受け手である狭山台小、狭山台中の間に感情的なズ

しを感じるので、4 者で協議する場がもっと必要ではないか。

A 狭山台地区に設けた受入検討委員会では、必要に応じて富士見小の関係者も加わり、諸々の課題について検討することを今後考えています。

Q 今回の入間川地区の統廃合は狭山台中のためという感じがするが、そのあたりの認識を狭山台の関係者は持っているのか。

A 今後、狭山台の関係者に対しても説明会を開き、そういったことも含めて理解の醸成を図っていきたいと考えています。

Q 東中で PTA の役員を経験していれば、狭山台中では免除してもらえるのか。

A 相互の学校の PTA 間で決めていただくことになります。

Q 東中の耐震の現状は。

A 大規模な地震により倒壊の危険性が高いと言われている構造耐震指標:ls 値 0.3 未満の北側校舎の一部については、スリット工事を施工し、耐震強度を上げています。

Q 狭山台中に冷房はあるのか。

A 狭山台中は冷房設備が整備されています。

Q 相談室は狭山台中や中央中にもあるのか。

A さわやか相談室は市内の中学校 10 校すべてに置かれています。

Q 統合した時のクラス編制は、東中と狭山台中の生徒が混じり合った形になるのか。

A そのような形で学級編制される予定です。

Q 東中にいた先生の何人かは、狭山台中に異動することになるのか。

A 教員人事の権限は埼玉県にありますので、どうなるかわかりませんが、東中の先生を多く配属してほしいという要望があることを踏まえたうえで、市の教育委員会として今後対応していくつもりです。

Q 前もって、狭山台中で行われている活動や行事の情報があったり、実際に体験できたりすれば、狭山台中に対する興味が湧くと思うし、行ってみたいと思えるようになるのではないかと。

A 具体的な内容は決まっていますが、統合前に生徒同士の事前交流を計画しています。情報提供については、狭山台中や中央中の学校だよりを関係校に掲示するなどといったことを考えています。

Q 生徒会はどうなるのか。

A 今後の学校間の話し合いのなかで決めてもらうこととなりますが、東中生徒会の「いじめゼロの取組」など、お互いの学校の生徒会の良い取組みはそのまま生かしていければいいと思っています。

- ◆ 入間川地区と狭山台地区のそれぞれの保護者が険悪になっている感じもするので、狭山台地区の保護者に対しても十分な説明をお願いしたい。
- ◆ 東中でPTAの役員を経験した人が、狭山台中でまた役員をやらされることになれば、相当揉めると思う。
- ◆ できれば耐震性の低い東中の校舎は閉鎖してほしい。
- ◆ 子どもが納得すれば親もそれについていけるので、統廃合は子どもの目線に立って進めてもらいたい。